

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	尾道市公共下水道（防災・安全）(重点計画)															
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)												重点配分対象の該当	○		
交付対象	尾道市															
計画の目標	浸水対策として雨水ポンプ場の整備及び、雨水幹線の整備を行う。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		2,602	A	2,602	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29末）	（H31末）	（R4末）
1	下水道による浸水対策達成率を平成29年度末37%から令和4年度末までに38%に向上させる			
	下水道による浸水対策達成率	37%	37%	38%
	浸水対策完了済面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積（ha）			

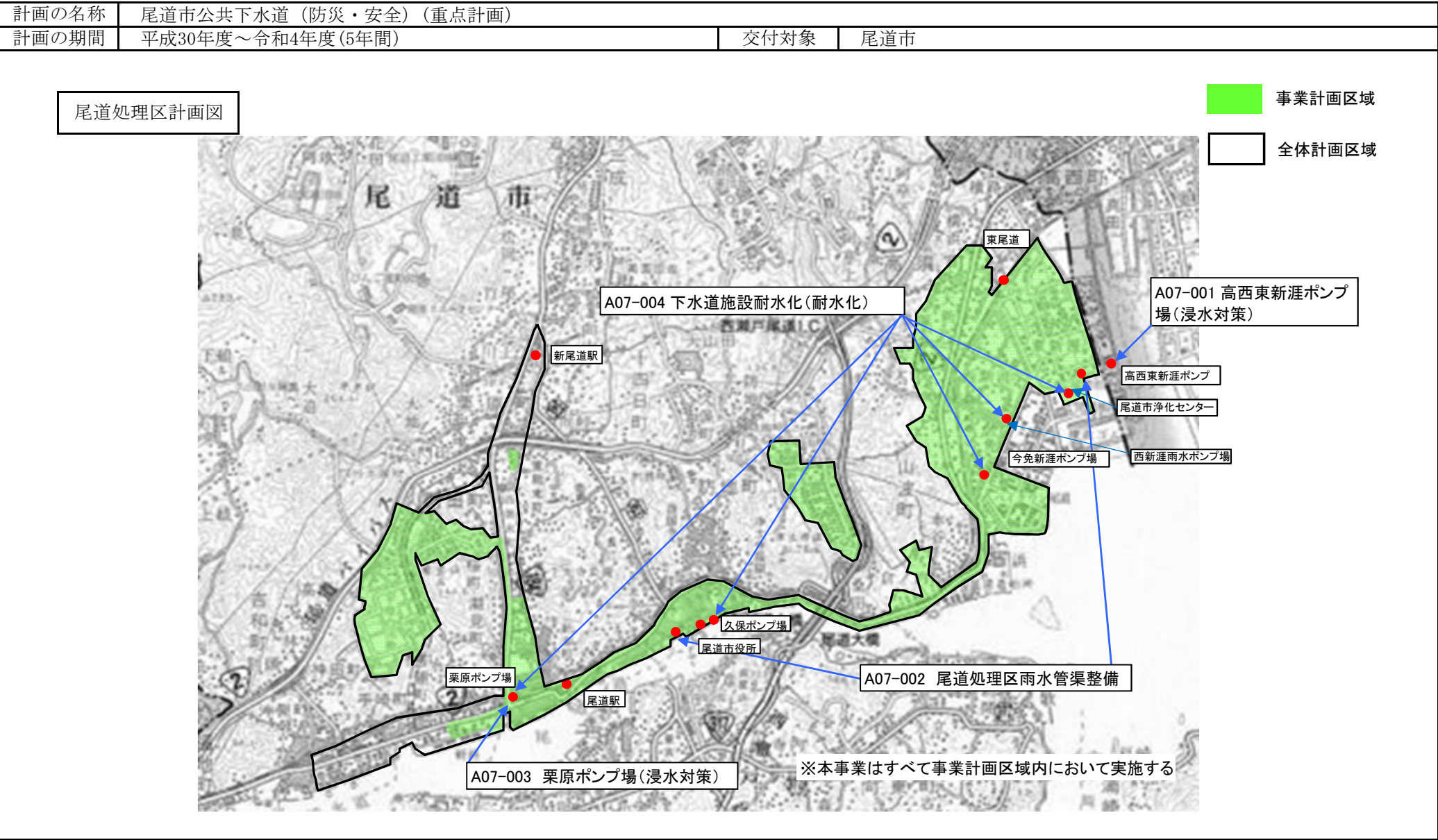
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	ポンプ 場	新設	高西東新涯ポンプ場（浸 水対策）	雨水ポンプ場新設（土木・建 築・機械・電気他）	尾道市						2,306		-
	A07-002	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	管渠（ 雨水）	新設	尾道処理区雨水管渠整備	雨水管渠 詳細設計・新設	尾道市						202		-
	A07-003	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	ポンプ 場	新設	栗原ポンプ場（浸水対策 ）	雨水ポンプ場 設計・増設	尾道市						75		-
	A07-004	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	終末処 理場	改築	下水道施設耐水化	尾道市浄化センター他7箇所 耐水化 計画策定等	尾道市						19		-
											小計						2,602		
										合計						2,602			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本事業の事後評価は、尾道市上下水道局の内部組織において事業効果の検証及び数値目標の達成状況を検証し、今後の整備計画を検討した。	令和7年度
	公表の方法
	市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【指標1】下水道による浸水対策達成率を平成29年度末37%から令和4年度末までに38%に向上させる。 ・雨水管渠整備とポンプ場整備により、計画区域内での浸水対策達成率を38%に向上させた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も、国の防災・減災、国土強靱化の方針に沿い、引き続き豪雨・水害リスクの高まりを踏まえた施設機能強化と計画的更新を推進する。また、次期計画からの設計実施、資材・施工時期等の外的要因を踏まえた柔軟な工程管理を徹底し、事業効果の一層の早期発現と効率的な執行体制の構築を図り、持続的な下水道管理体制を確立し、地域の安全安心の確保に努める。	

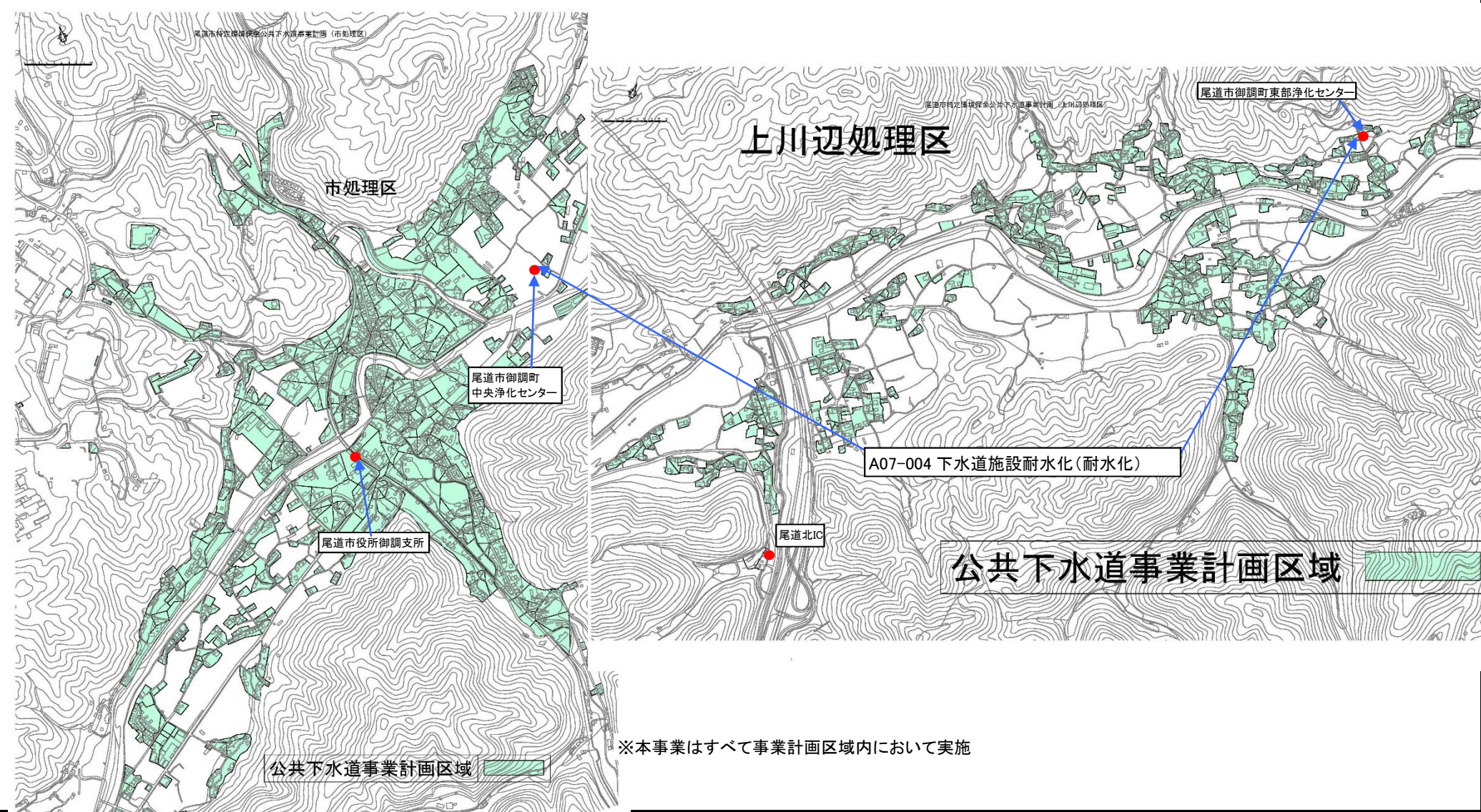
目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	38%	
	最 終 実績値	38%	

社会資本総合整備計画



社会資本総合整備計画

計画の名称	尾道市公共下水道（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	尾道市



事前評価チェックシート

計画の名称： 尾道市公共下水道（防災・安全）(重点計画)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業との関係 1) 事業による目標達成の可能性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業実施のための環境整備が図られている。	○